



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場会社名 株式会社 ゴルフ・ドウ  
 コード番号 3032 URL <http://www.golfdou.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

(氏名) 伊東 龍也  
 (氏名) 布施 聡之

TEL 048-851-3111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	3,755	10.0	104	30.5	101	32.4	76	△2.1
28年3月期第3四半期	3,415	3.9	79	96.5	76	112.0	77	89.6

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 83百万円 (15.2%) 28年3月期第3四半期 72百万円 (17.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	30.06	—
28年3月期第3四半期	31.44	30.70

当社は、平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算出しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	2,538	631	24.9	248.62
28年3月期	2,473	548	22.2	215.70

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 631百万円 28年3月期 548百万円

当社は、平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算出しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	4,700	5.5	125	70.6	120	68.1	99	38.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。連結業績予想の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	2,682,600 株	28年3月期	2,682,600 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	141,958 株	28年3月期	141,958 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	2,540,642 株	28年3月期3Q	2,480,642 株

当社は、平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算出しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、海外経済に緩やかな回復はあるものの、アメリカ合衆国における大統領選挙や利上げ、EUにおける金融不安やイギリスの離脱問題、インバウンド消費の減速など、海外の情勢に大きく左右される状況が続いております。しかしながら、アメリカ合衆国における大統領選挙以降は円安傾向で株価も上昇しており、国内景気は緩やかな回復基調が続いております。また、雇用情勢も着実に改善傾向にあり、有効求人倍率も上昇を続けていることから、消費を取り巻く環境も改善しております。

ゴルフ業界におきましては、松山英樹プロのめざましい活躍があったものの、矢野経済研究所「YPSゴルフデータ」によりますと、当第3四半期連結会計期間は第2四半期連結累計期間と同様に、購入客単価は前年実績から上昇しておりますが、販売点数ならびに販売金額は前年実績を下回っております。新品クラブは新製品の販売が堅調に推移しておりますが、逆に今までの傾向とは打って変わり、マークダウン品の販売が大きく減少しております。

ゴルフ場・練習場の利用者数は、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、前年同月比10月98.2%/99.4%、11月91.8%/98.5%と前年実績を下回っており、トップシーズンである秋の集客に苦戦した結果となりました。

このような状況のもと、直営事業の直営店におきましては、お客様購入単価および購入客数が当第3四半期連結会計期間を通じて前年実績を上回りました。また、特に10月のセール効果が大きく、売上高も当第3四半期連結会計期間はいずれの月も前年実績を上回りました。その結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は前年同期比で9.6%増となり、当第3四半期連結累計期間の売上高も前年同期比で5.0%増となりました。フランチャイズ事業におきましては、平成28年10月に「小山店」が新規オープン、「小牧店」が規模を拡大し移転オープンしました。更に11月には「滑石店」も規模を拡大し「長崎城栄店」として移転オープンしました。平成28年12月末日現在の営業店舗数は直営店店舗も含め全国で合計78店舗です。営業販売事業におきましては、アメリカ合衆国における大統領選挙以降の円安基調により、米国直輸入商材の仕入れ値への影響が懸念されましたが、仕入れのタイミングが重ならず影響はありませんでした。また、国内メーカー商材の卸売も堅調に推移しております。

また、平成28年10月に子会社として株式会社ナインルーツを新たに設立し、同月にフランチャイズ加盟によるリラクゼーションサロン「ルアンルアン」事業をスタート、その第1号店として「柏モディ店」をオープンしました。なお、当第3四半期連結会計期間より「ルアンルアン」事業を、ウェルネス事業としてセグメントに追加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高37億55百万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益1億4百万円（前年同四半期比30.5%増）、経常利益1億1百万円（前年同四半期比32.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は76百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。

ゴルフ・ドゥ！店舗月次データ（売上高前年比）は以下のとおりであります。

ゴルフ・ドゥ！ 店舗	上半期 累計	H28年 10月	H28年 11月	H28年 12月	第3四半期合計 (10～12月)	第3四半期累計 (4～12月)
チェーン全店	97.8%	101.1%	100.5%	97.6%	99.8%	98.4%
チェーン既存店	97.4%	99.9%	98.8%	96.8%	98.5%	97.7%
直営全店	102.8%	116.7%	106.3%	105.6%	109.6%	105.0%
直営既存店	101.7%	116.7%	106.3%	105.6%	109.6%	104.3%
FC全店	94.9%	92.3%	97.1%	93.2%	94.1%	94.6%
FC既存店	94.7%	89.9%	94.2%	91.8%	91.9%	93.8%

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

## (直営事業)

当第3四半期連結累計期間における直営事業の売上高は26億39百万円（前年同四半期売上高は24億70百万円）となりました。また、セグメント利益は1億34百万円（前年同四半期セグメント利益は1億39百万円）となりました。

## (フランチャイズ事業)

当第3四半期連結累計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は3億26百万円（前年同四半期売上高は2億73百万円）となりました。また、セグメント利益は1億26百万円（前年同四半期セグメント利益は1億20百万円）となりました。

## (営業販売事業)

当第3四半期連結累計期間における営業販売事業の売上高は7億85百万円(前年同四半期売上高は6億71百万円)となりました。また、セグメント利益は42百万円(前年同四半期セグメント利益は4百万円)となりました。

## (ウェルネス事業)

当第3四半期連結累計期間におけるウェルネス事業の売上高は4百万円となりました。また、セグメント損失は10百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は25億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円の増加となりました。

流動資産は、19億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円の増加となりました。これは主に現預金が25百万円減少、売掛金が41百万円増加、商品が1億24百万円増加及び短期貸付金が58百万円減少したことによるものです。

固定資産は、5億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産が8百万円増加、無形固定資産が5百万円減少及び投資その他の資産が18百万円減少したことによるものです。

## (負債)

流動負債は、12億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億61百万円の増加となりました。これは主に買掛金が17百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が68百万円減少及び短期借入金が2億20百万円増加したことによるものです。

固定負債は、6億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億80百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が1億80百万円減少したことによるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は6億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が76百万円改善したことによるものです。この結果、自己資本比率は24.9%(前連結会計年度末は22.2%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月16日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益にあたる影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	499,462	473,548
売掛金	185,308	227,230
商品	1,077,832	1,202,797
繰延税金資産	32,763	32,161
短期貸付金	59,227	427
その他	41,503	40,105
貸倒引当金	△1,809	△1,809
流動資産合計	1,894,288	1,974,461
固定資産		
有形固定資産	198,764	206,931
無形固定資産	49,240	44,042
投資その他の資産		
投資有価証券	17,924	19,989
長期貸付金	11,300	—
敷金及び保証金	159,666	159,459
建設協力金	109,554	101,394
その他	35,224	34,090
貸倒引当金	△2,167	△2,167
投資その他の資産合計	331,501	312,766
固定資産合計	579,506	563,739
資産合計	2,473,795	2,538,201
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	247,415	229,846
短期借入金	400,000	620,000
1年内返済予定の長期借入金	289,972	221,233
未払法人税等	9,848	22,778
賞与引当金	14,196	10,610
ポイント引当金	30,056	34,137
その他	127,566	142,026
流動負債合計	1,119,056	1,280,632
固定負債		
長期借入金	588,258	408,212
退職給付に係る負債	100,722	98,734
資産除去債務	41,430	44,358
繰延税金負債	5,911	6,075
その他	70,406	68,525
固定負債合計	806,727	625,905
負債合計	1,925,784	1,906,538

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	506,120	506,120
資本剰余金	183,172	183,172
利益剰余金	△157,545	△81,176
自己株式	△23,649	△23,649
株主資本合計	508,098	584,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	919	2,984
為替換算調整勘定	38,993	44,210
その他の包括利益累計額合計	39,912	47,194
非支配株主持分	—	—
純資産合計	548,011	631,662
負債純資産合計	2,473,795	2,538,201

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	3,415,590	3,755,944
売上原価	2,152,953	2,418,102
売上総利益	1,262,637	1,337,841
販売費及び一般管理費	1,182,852	1,233,747
営業利益	79,784	104,094
営業外収益		
受取利息	3,492	2,122
受取手数料	2,544	2,709
為替差益	447	3
その他	177	460
営業外収益合計	6,661	5,296
営業外費用		
支払利息	8,253	6,653
その他	1,276	906
営業外費用合計	9,529	7,560
経常利益	76,916	101,829
特別利益		
退職給付制度終了益	9,874	—
特別利益合計	9,874	—
税金等調整前四半期純利益	86,791	101,829
法人税、住民税及び事業税	15,159	24,694
法人税等調整額	△1,939	766
法人税等合計	13,220	25,460
四半期純利益	73,571	76,369
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,410	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	77,981	76,369



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	73,571	76,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,386	2,065
為替換算調整勘定	457	5,216
その他の包括利益合計	△928	7,282
四半期包括利益	72,642	83,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,052	83,651
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,410	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,470,494	273,530	671,531	3,415,556	33	—	3,415,590
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	17,759	△17,759	—
計	2,470,494	273,530	671,531	3,415,556	17,793	△17,759	3,415,590
セグメント利益又は損失(△)	139,145	120,981	4,848	264,976	△3,805	△181,386	79,784

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マーケティング支援事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	ウェルネス	合計			
売上高								
外部顧客への売上高	2,639,136	326,659	785,647	4,500	3,755,944	—	—	3,755,944
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	10,464	△10,464	—
計	2,639,136	326,659	785,647	4,500	3,755,944	10,464	△10,464	3,755,944
セグメント利益又は 損失(△)	134,011	126,866	42,555	△10,174	293,259	919	△190,084	104,094

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない広告代理店事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

## (1) (報告セグメントの変更)

当第3四半期連結会計期間において、新たに株式会社ナインルーツを設立し、報告セグメントとして「ウェルネス事業」を追加しております。

## (2) (平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更に伴う影響額は軽微であります